

# 北海道 ITS 推進フォーラム 会報



NO. 20

## CONTENTS

- P1 【活動報告】平成 23 年度定期総会開催報告
- P2 【活動報告】平成 23 年度定期総会開催報告
- P3 【活動報告】平成 23 年度定期総会開催報告・講演会・研究会開催報告
- P4 【活動報告】講演会・研究会開催報告 【お知らせ】

## 活動報告：平成 23 年度定期総会開催報告

去る平成 23 年 6 月 15 日（水）北海道立道民活動センターかでの 2・7（520 研修室）におきまして、北海道 ITS 推進フォーラム平成 23 年度定期総会が開催されました。当日は 25 会員（委任 15 含む）の参加により総会は開始されました。

議事の進行に先立ち、山本会長からご挨拶をいただき、続いて規約に則り会長を議長に選出し、議事が進められました。

第 1 号議案「平成 22 年度事業報告」について、事務局からの報告後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 2 号議案「平成 22 年度会計報告」について事務局から収入・支出状況を説明し、監事の石本氏から監査報告がされた後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 3 号議案「規約の改定」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。これにより、新たに評議員を置くこととなりました。第 4 号議案「平成 23 年度役員および幹事」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 5 号議案「平成 23 年度事業計画（案）」及び第 6 号議案「平成 23 年度事業予算（案）」について、事務局より提案内容の説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。

以上で予定されていた議案の審議は全て終え、総会は終了いたしました。総会の運営にあたり会員の皆様に多大なるご協力をいただきましたことについて、事務局よりあらためてお礼申し上げます。



平成 23 年度定期総会の様子

### ■定期総会

日時：平成 23 年 6 月 15 日（水）14 時 00 分～  
場所：北海道立道民活動センターかでの 2・7 520 研修室

### ■平成 23 年度会員（平成 23 年 6 月現在）

一般会員：29 会員  
個人会員：8 会員  
特別会員：19 会員

### ■平成 23 年度役員構成（平成 23 年 6 月現在）

会長：山本 強（北海道大学大学院情報科学研究科教授）  
副会長：鈴木 勝美（(財)北海道道路管理技術センター常務理事）  
太田 祐司（株式会社ドーコン交通部長）  
田中 正稔（株式会社シー・イー・サービス副社長）  
監事：浅野 基樹（(独)土木研究所寒地土木研究所 寒地道路研究グループ長）  
原 文宏（(社)北海道開発技術センター理事）  
石本 敬志（(財)日本気象協会北海道支社参与）  
評議員：後藤 貞二（北海道開発局建設部道路計画課長）  
清水 文彦（北海道建設部土木局道路課長）  
田坂 隆（札幌市建設局土木部道路課計画担当課長）

### ■平成 23 年度幹事構成（平成 23 年 6 月現在）

代表幹事：正岡 久明（株式会社シー・イー・サービス）  
幹事：高山 博幸（北海道開発局建設部道路計画課）  
細川 智之（北海道建設部土木局道路課）  
茂木 秀則（札幌市建設局管理部雪対策室）  
松浦 宏（札幌市建設局土木部道路課）  
渡辺 章（(財)北海道道路管理技術センター）  
松澤 勝（(独)土木研究所寒地土木研究所）  
松田 泰明（(独)土木研究所寒地土木研究所）  
内藤 利幸（株式会社ドーコン）  
岡村 智明（(財)日本気象協会北海道支社）  
大川戸貴浩（(社)北海道開発技術センター）  
長谷川一義（株式会社長大）  
金村 直俊（札幌総合情報センター株式会社）

### ■平成 22 年度事業報告

#### 1. 啓発・普及事業

##### 1) 講演会開催（2 回）

- ア) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 1 回）  
・日時：平成 22 年 6 月 2 日（水）15 時～16 時 50 分  
・場所：札幌市教育文化会館 305 号室
- イ) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 2 回）  
・日時：平成 22 年 10 月 29 日（金）13 時～14 時 50 分  
・場所：独立行政法人土木研究所寒地土木研究所 講堂
- ウ) ホームページの運用  
ホームページ及び電子メールによる情報提供を実施  
・ホームページでの情報提供

	ホームページでのニュース掲載	作成元	件数
1	トピックス・関連情報	幹事、事務局	7
	計		7

##### ・電子メールによる案内

	電子メール内容	発信元	件数
1	推進フォーラム事業案内	事務局	5
2	関係機関からのニュース	事務局	70
3	会員からの投稿	会員	1
	計		76

## 2. 会員サービス事業

### 1) 定期総会開催

開催日：平成22年6月2日（水）  
 場 所：札幌市教育文化会館 305号室  
 内 容：平成21年度事業・会計報告、規約の改定、平成22年度事業計画・予算について

### 2) 会報発行

号 数：第19号  
 発行日：平成23年5月  
 内 容：平成22年度定期総会報告、講演会・研究会活動報告、事務局からのお知らせ

## 3. 調査・研究事業

### 1) 産学官民連携による地域 ITS 推進研究会の開催

第1回 開催日：平成22年8月26日（木）  
 場 所：北海道立道民活動センター  
 かでの2・7 8階 特別会議室  
 参加者：49名  
 内 容：講演3題  
 第2回 開催日：平成22年10月20日（水）  
 場 所：北海道立道民活動センター  
 かでの2・7 8階 特別会議室  
 参加者：46名  
 内 容：講演2題

## 4. 協力・推進事業

1) 地域 ITS 推進団体連絡会への協力・参加  
 開催日：平成22年11月4日（木）～5日（金）  
 場 所：長崎県南松浦郡新上五島町 新五島町消防本部

## ■平成22年度会計報告

### 1. 収入（単位：円）

科 目	決算額	備 考
1. 前年度繰越	485,809	
2. 会費	350,000	
3. 雑収入	102	預金利息
合 計	835,911	

### 2. 支出（単位：円）

科 目	決算額	備 考
1. 事業費	369,640	
(1) 啓発普及	108,270	講演会開催等
(2) 会員サービス	27,100	総会開催
(3) 調査研究	124,680	研究会開催等
(4) 協力推進	109,590	旅費
2. 管理費	3,760	通信印刷費等
3. 諸雑費	1,050	振込手数料
合 計	374,450	
残 高	461,461	

## ■規約の改定

改定箇所（下線部分）

### (評議員)

- 第11条 本フォーラムに、若干名の評議員を置く。  
 2 評議員は役員会の推薦により特別会員の中から会長が委嘱する。  
 3 評議員は役員会に出席し、本フォーラムの活動に助言を与える。  
 4 評議員の任期は第10条を準用する。

### (総会)

- 第12条 総会は、第4条の規定に定められた会員を持って構成する。  
 2 総会は、通常総会および臨時総会とする。  
 3 総会は次の事項を審議し、決定する。  
 (1) 事業計画及び収支予算  
 (2) 事業報告及び収支決算  
 (3) 役員を選任  
 (4) 代表幹事および幹事の選任  
 (5) 規約の変更  
 (6) その他本フォーラムに関する重要な事項  
 4 総会は、会長が招集する。  
 5 総会の議長は、会長が務める。  
 6 総会は、第4条の規定に定められた一般会員と個人会員現在の過半数の出席により成立する。  
 7 総会の議事は出席した一般会員と個人会員の過半数をもってこれを決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。  
 8 総会に出席できない一般会員と個人会員は、書面を持って表決に加わる、または他の会員を代理人として表決を委任することができる。  
 9 前項に規定により表決に加わる一般会員と個人会員は、総会に出席したものとみなす。

### (幹事会)

- 第13条 本フォーラムの下に幹事会を置く。  
 2 幹事会は、代表幹事と幹事によって構成される。  
 3 代表幹事および幹事は、会員の中から総会において選出する。  
 4 前項の規定にかかわらず、幹事会において、本会の活動の上で、幹事会に加わることがふさわしいと判断される会員は、会長の承認を得て、幹事とすることができる。  
 5 幹事会は、代表幹事が招集し、総会の決定事項にもとづき本フォーラム事業の具体的な企画、立案、運営を行う。  
 6 会計担当の幹事は一般会員もしくは個人会員の幹事の中から、幹事の互選で選任する。

## ■平成23年度事業計画

### 1. 啓発・普及事業

- 1) 講演会の開催  
 札幌市内で2回程度開催予定  
 (第1回) 総会終了後  
 (第2回) 平成23年秋頃  
 2) ホームページの運用  
 ・フォーラム事業や活動の紹介  
 ・資料室、関連リンク集の充実

### 2. 会員サービス事業

- 1) 総会開催（1回）  
 2) 会報の作成及び発行（1回）

### 3. 調査研究事業

- 1) 地域 ITS 推進研究会の開催  
 開催回数：2回程度/年  
 開催場所：札幌市内（予定）  
 テーマ：冬道、防災、観光に関連する技術や施策など  
 開催結果：会報およびホームページ上で報告

### 4. 協力・推進事業

- 1) 関連講演会・会議などへの後援や協賛  
 2) 地域 ITS 推進団体連絡会への参加

## ■平成23年度事業予算

### 1. 収入 (単位: 円)

科目	予算額	備考
1. 前年度繰越	461,461	
2. 会費	364,000	
3. 雑収入	100	預金利息
合計	825,561	

### 2. 支出 (単位: 円)

科目	予算額	備考
1. 事業費	435,000	
(1) 啓発普及	215,000	講演会開催他
(2) 会員サービス	50,000	総会開催他
(3) 調査研究	100,000	研究会開催他
(4) 協力推進	70,000	地域ITS団体連絡会参加
2. 管理費	10,000	通信印刷費他
3. 諸雑費	2,000	振込手数料
4. 予備費	378,561	
合計	825,561	

### 内 容:

- 1) 演題: 現場急行支援システム (FAST)  
講師: 北海道警察本部 交通部交通規制課  
交通管制センター所長 一関 久純 様
- 2) 演題: 「CAIS」コンセプトに基づいた路面状態判定技術  
講師: 株式会社ブリヂストン タイヤ先行技術開発部  
森永 啓詩 様
- 3) 演題: 社会・産業の発展に寄与するモバイル空間統計  
講師: 株式会社エヌ・ティ・ティドコモ研究開発センター 先進技術研究所 ネットワークシステム  
研究グループ主幹研究員 岡島 一郎 様



一関 久純 様



森永 啓詩 様



岡島 一郎 様



会場の様子

## ■北海道ITS推進フォーラム講演会開催報告

### ○平成23年度 第1回北海道ITS推進フォーラム講演会

平成23年6月15日(水)北海道立道民活動センターかでの2・7におきまして、平成23年度第1回の講演会を開催いたしました。講演会にはフォーラム会員を含め56名の方にご参加いただきました。講演会の内容は以下のとおりです。

日 時: 平成23年6月15日(水)  
場 所: 北海道立道民活動センター かでの2・7  
(札幌市中央区北2条西7丁目)

### 内 容:

- 1) 演題: 地域のモビリティデザインとITS  
講師: 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻  
准教授 羽藤 英二 様
- 2) 演題: 日産自動車における電気自動車の取り組みについて  
講師: 日産自動車株式会社 企画先行技術開発本部  
技術企画部 主担 人見 義明 様



羽藤 英二 様



人見 義明 様

### ○平成23年度 第2回北海道ITS推進フォーラム講演会

第2回講習会は、北海道土木技術会道路研究委員会との共催で、平成23年11月に開催いたしました。内容は以下のとおりです。

日 時: 平成23年11月9日(水) 13時30分~16時50分  
場 所: 札幌市教育文化会館 講堂  
(札幌市中央区北1条西13丁目)

## ■地域ITS推進研究会開催報告

### ○平成23年度 第1回地域ITS推進研究会

第1回研究会では、安全・安心に関連したIT技術の活用をテーマに2題の講演をしていただきました。

日 時: 平成23年8月30日(火)  
場 所: かでの2・7 1040会議室  
(札幌市中央区北2条西7丁目)

### 内 容:

- 1) 演題: 高齢者の安全運転を支援する車載情報システムの開発  
講師: 北海道大学大学院 情報科学研究科  
教授 山本 強 様  
「北海道はICT分野からアプローチするITSを考えなければ、永遠にITSの消費地でしかない。」という危機意識のもと、北海道の地域特性を踏まえたITSが重要であることを、具体事例を交えてご紹介いただきました。
- 2) 演題: 岩見沢市におけるICタグを活用した児童見守りシステム等の取り組みについて  
講師: 岩見沢市 企画財政部 企業立地情報化推進室  
室長 黄瀬 信之 様  
岩見沢市が取り組んでいるICT施策、ICT基盤やITビジネス特区、IT企業進出による雇用の創出など、市として積極的に取り組んでいる現状についてご紹介いただきました。



山本 強 様



黄瀬 信之 様

## ○平成 23 年度 第 2 回地域 ITS 推進研究会

日 時：2012 年 1 月 13 日（金）  
 場 所：TKP ガーデンシティ札幌 きょうさいサロン  
 カンファレンスルーム N-4  
 （札幌市中央区北 4 条西 1 丁目）  
 内 容：

- 1) 演題：吹雪の視界情報～吹雪の投稿情報の公開実験について  
 講師：寒地土木研究所寒地道路研究グループ  
 雪氷チーム 川中 敏朗 様  
 吹雪対策のソフト的な対策として、「吹雪の視界情報」と「吹雪の投稿情報」の提供実験についてご紹介いただきました。  
 「吹雪の視界情報」は、北海道内を 46 エリアに分割して、吹雪の状況を 5 段階でパソコンのウェブ上で提供するものです。また、「吹雪の投稿情報」は、登録されたモニターから、吹雪発生時の場所（路線と市町村名）、視界、天気、画像などを投稿してもらい、専用ページで情報を共有するものです。  
 平成 22 年度の実験におけるアンケート結果では、吹雪の視界情報については、96%、「吹雪の投稿情報」は、83%の方が役に立つと回答しており、その効果が示されています。
- 2) 演題：つるつる路面情報提供の今年度の取り組み  
 講師：ウィンターライフ推進協議会  
 幹事長 金村 直俊 様  
 歩行者の転倒事故に対する取り組みをご紹介いただきました。  
 地域住民を対象とした雪道に関するアンケート調査では、転びにくい道路へのニーズが高いこと、夏期に比べ冬期は外出を控える傾向にあること、その理由として、「雪道での転倒」が最も多いことなどが示されました。そこで、「つるつる路面特派員」として、滑りやすい路面が出現したときに、その情報を投稿してもらい取り組みを紹介いただきました。投稿された情報は、地図化されてウェブ上で提供され、注意喚起を行うとのことです。  
 今後の課題として、高齢者のインターネットの利用が少ないことが挙げられ、テレビや印刷物など高齢者に有効な情報提供方法の検討も行っていくとのことです。
- 3) 演題：自転車利用者の行動特性分析における新たな手法について  
 講師：北海道開発局 札幌開発建設部  
 都市圏道路計画課 堀田 美和子 様  
 従来のパーソントリップ調査では不可能であった、細かい移動経路について、GPS携帯を用いたプローブパーソン調査手法とその結果について紹介いただきました。

このシステムでは、10秒間隔で位置を特定することができるので、自転車利用者46名にGPS携帯を貸与して調査を行いました。その結果、経路選択パターンとして、決まった最短距離を走行する経路固定型、走行性や信号の影響を回避する経路変更型、平坦性や連続性を重視する走行環境重視型などに分類できることが明らかにされました。



川中 敏朗 様



金村 直俊 様



堀田 美和子 様



会場の様子

## 事務局からのお知らせ

- 平成 24 年度事業においても、講演会や研究会の開催を予定しております。開催の詳細が決まりましたら、別途ご案内いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。
- 開催した講演会や研究会などの活動報告につきましては、その都度ホームページに掲載しますので、ご覧下さい。
- 代表者名や連絡先など、ご登録内容が変更になった場合は、変更申込書（ホームページからダウンロードできます）をご利用の上、郵送または FAX で事務局まで送付願います。
- 年会費納入のお願い  
 会員の皆様には、年会費の請求書を 6 月中にお送りしますので、納入いただきますようお願いいたします。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。

編集・発行／北海道 ITS 推進フォーラム (Hokkaido ITS Forum)

<http://www.hokkaido-its.jp/>

● TEL 011(736)8577 ● FAX 011(736)8578

● E-mail [info@hokkaido-its.jp](mailto:info@hokkaido-its.jp)

会員連絡窓口：新井